

平成29年2月22日

平成29年度 自動走行実証推進事業への応募申請書

	市町村名	東郷町
連絡先	部署名	企画部企画情報課
	担当者役職・氏名	主査 鈴木貴士
	電話番号	0561-38-3111 (内 2322)
	FAX番号	0561-38-0001
	メールアドレス	tgo-kikaku@town.aichi-togo.lg.jp

○ 本事業への応募理由

本事業への応募理由、狙い等について、自動走行システムへの期待やそれを活用することにより解決すべき行政課題を含めて記載してください。併せて、実証実験の成果を活用し、当該行政課題を解決するための自らの施策展開の方向性等も記載してください（今年度実施した地域におかれては、その点も踏まえて記載してください）。

テーマ：交通弱者対策

(1) 実証地域（ルート）において、自動走行システムを活用することにより、解決すべき行政課題（高齢者対策、交通不便地対策、観光振興対策等）が存在すること。

【現状と課題】

東郷町は、愛知県のほぼ中央部にあり、名古屋市と豊田市の間に位置し、宅地開発を中心に人口4万人を超えるまちとして発展してきました。また、現在ではまちの中心部にセントラル開発を推進し、まちの中心核づくりを進めています。しかしながら、本町には、鉄道駅がなく、町巡回バス「じゅんかい君」と名鉄バス及びタクシーにより公共交通ネットワークを形成し、交通弱者の主な交通手段となっています。また、平成28年4月から「高齢者運転免許証自主返納支援事業」を開始し、運転免許証を返納した高齢者の移動手段をどのように確保するかが課題となっております。

【町巡回バスの運行状況と役割等】

巡回バスは3コースあり、それぞれ右回り・左回りの2種類の巡回方法で実施しています。

- ① 西コースは約14kmの行程で所要時間は約45分で、年間延べ約3万人が利用。
- ② 北コースは約21kmの行程で所要時間は約70分で、年間延べ約10万人が利用。
- ③ 南北コースは約20kmの行程で所要時間は約60分で、年間延べ約4万人が利用。

となっており、それぞれ役場と地区の集会所（コミュニティセンター）、及び町内に点在する第1種・第2種大規模小売店舗などを結んでいます。

町民アンケートにおいて、「じゅんかい君」が果たすべき役割として「高齢者や子どもなど車を運転できない交通弱者にとっての移動手段」が一番高い割合となっています。

また、「バスで行けるといい町内の施設」として「役場・いこまい館」が26%と一番高い割合となっています。

しかしながら、「じゅんかい君」のサービスに関する満足度では、不満割合の高い項目として「バスの便数」「バスのダイヤ（時刻表）」「バスが運行している時間帯」が挙げられています。

【公共施設の配置】

東郷町は、中心部に「役場」、「町民会館（図書館含む）」、「総合体育館」及び町民交流拠点施設である「いこまい館」が集約され、公共施設を利用しやすいまちづくりとなっています。また、これらの施設は、納涼まつりや文化産業まつりなどの町の主要な行事も開催される場所となっております。そのため、町民が訪れる機会も多く、役場への交通手段を確保することは重要となっております。

【課題解決へ向けて】

これらのことから、今後ますます需要が高まる巡回バスですが、コストの面から町内すべてを網羅することは困難であり、また、本数にも限りがあります。課題の解決に向け、自動走行車の活用は、巡回バスで補完できない時間帯や便数などの空白部分を補うことができると思います。それにより、高齢者の外出する機会を増やし、高齢者の社会参画に繋がることを期待します。

(2) 実証実験の成果を活用し、当該行政課題を解決するための自らの施策展開の方向性等が明確なこと（市町村のまちづくり計画等への位置付けや、市町村や地域の交通事業者等との関係者が連携し施策を具体化する体制の構築が見込まれることなど）。

第5次東郷町総合計画（2011～2020）において巡回バスの充実と公共交通の利用促進を掲げております。また、平成28年4月に策定しました「東郷町地域公共交通網形成計画」の基本方針において「エコまちづくり」を支える公共交通ネットワークの形成として、特定路線に限定した機能強化ではなく、東郷町が目指す総合計画の将来都市像の具現化を見据え、鉄道、路線バス、「じゅんかい君」及びタクシーが一体となって、相互に補完し合うことにより、地域住民の生活行動に応じた利用しやすく、合理的かつ効率的な公共交通ネットワークを形成する必要があるとしています。

また、東郷町では町の中心核として大型商業施設を誘致するセントラル開発を推進しており、交通結節点として近隣市の鉄道駅を結ぶ機能を持たせることを考えています。そのため、将来的には、交通弱者への移動手手段の確保だけでなく、自動走行車を活用したパークアンドバスライドによるエコまちづくりと渋滞緩和施策の推進にも活用できると考えております。

(スペースは適宜広げて記載してください)

○ 実証実験実施場所、ルートの詳細

以下の点を記載及び地図に明示してください。路線内にある信号交差点、起点・終点場所、主要な施設（駅、病院、公共施設等）を示してください。

1 ルート（起点→終点）

東郷町役場→御岳コミュニティセンター

2 ルート（地図）



3 地理条件（既存のバスルートの有無、運行本数や地域の状況等を記入）

町巡回バス南北ルート

左回り 5本/日（土日は3本/日）

右回り 4本/日

4 道路条件（募集要項も参照のこと）

項目名	内容
路線距離	片道約2.5キロ
車線数	片側1車線 白線一部劣化
道路構造	歩車分離（右車線はガードレールなし）、勾配少しあり
道路種別	全て町道 和合・春木線 → 南蚊谷・北山台線 → 白鳥・狐坂線 → 愛知池線 → 白鳥・御岳1号線 → 御岳1号線
トンネル、踏切	ともに無し
交通量	（例）全体的に少なく、普段渋滞は発生しない
交差点	右折する交差点2か所、左折する交差点2か所、Y字路1か所
起点・終点	起点：東郷町役場駐車場 終点：御岳コミュニティセンター駐車場 駐停車場所、モニター調査実施場所の確保可能
その他特記事項	

5 写真（次のものを貼り付けてください。Google ストリートビューなどでも可。容量はワードファイル全体で5MB以下としてください。）

(1) 道路の様子（主要地点数カ所）

①東郷町役場入口



②Y字交差点（右折）



③信号交差点 (左折)



④信号交差点 (右折)



⑤御岳交番北交差点 (左折)



⑥T字路 (右折)



⑦御岳コミュニティセンター入口

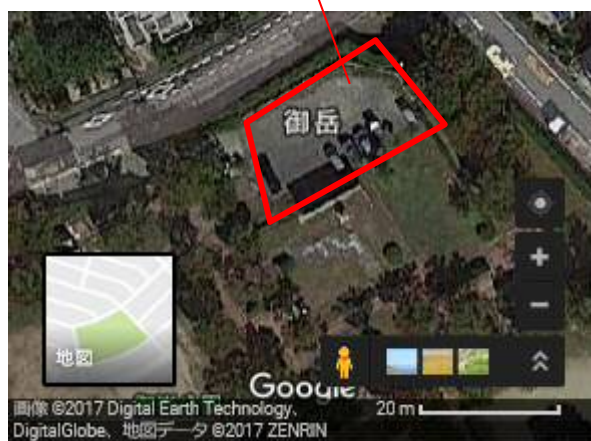


(2) 起点、終点場所 (駅、公共施設等)

①起点 (東郷町役場)



②終点 (御岳コミュニティセンター駐車場)



(3) 車両待機場所 (起点・終点場所と異なる場合)

起点・終点と同じ

6 高精度3Dマップの有無

有 (平成29年度整備予定の場合は、時期を明記してください。また、「有」の場合は、そのルートも記載してください。)

無

7 貴自治体における自動走行に関連した独自の取組 (実績、平成29年度の予定・予算措置状況等)

特にありません。

8 その他参考資料 (ある場合は添付)

特にありません。